

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

「インフラマネジメント支援システム（舗装版）」 システム開発とリリースの開始

～地方自治体における道路デジタルトランスフォーメーション(DX)を支援します～

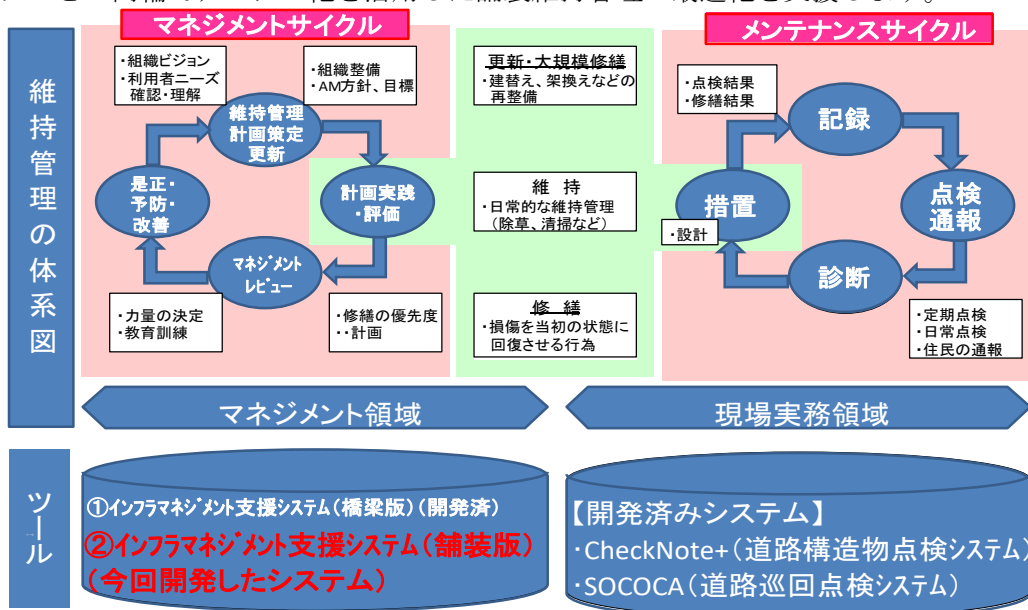
株式会社オリエンタルコンサルタンツはこの度、舗装の維持管理のマネジメントを最適化する「インフラマネジメント支援システム（舗装版）」を開発しました。本システムは、当社が既に開発して主に地方自治体を支援している「インフラマネジメント支援システム（橋梁版）」に続くものであり、維持管理領域におけるデジタル化を目指しており、DX事業の一環として位置付けております。

地方自治体では人口減少、少子高齢化が進展し、財政状況が厳しくなる中、老朽化するインフラ施設等を市民が安全で安心して利用できるよう維持管理していく必要があります。このような中、全国の地方自治体は、主要な道路の舗装を点検し、道路舗装の個別施設計画（維持修繕管理計画、長寿命化計画など）を策定して修繕等を実施しています。しかしながら、「点検はしているものの、具体的な修繕計画は策定していない」、「予算の見込み違い、また予算が得られないなどから、予定どおり修繕が実施できない」、「修繕の計画を見直すのに手間がかかる」等、事業執行段階での課題が明らかとなっています。

当社はこれらの課題を解決するため、令和2年12月に「インフラマネジメント支援システム（舗装版）」を開発し、舗装の維持管理のマネジメントを最適化する支援サービスを開始しました。

■本システムの特徴

「インフラマネジメント支援システム（舗装版）」は既に開発されている橋梁版と同様に、「舗装の維持管理計画の策定⇒実践・評価⇒マネジメントレビュー⇒是正・予防・改善⇒計画更新」のマネジメントサイクルを円滑に支援します。更に、当社が開発して点検等の記録を支援する「舗装点検支援システム」や「巡回点検支援システム～SOCOCA～」との連携も視野に、メンテナンスサイクルとの両輪でデジタル化を活用した舗装維持管理の最適化を支援します。



「インフラマネジメント支援システム（舗装版）」は、以下の機能を有し、舗装の維持修繕管理計画の作成及び見直しを容易に行えることが特徴です。

- ①修繕実績を基に予算設定の精度を高め、予算と実工事費の乖離を減少させることが可能
- ②点検結果等から、管理する舗装損傷を踏まえた舗装工事の施工範囲の設定が容易に作成可能
- ③点検結果等を踏まえた迅速な修繕計画の更新が可能
- ④工事計画変更及び工事実施を反映した長寿命化計画の更新が可能
- ⑤舗装版に関しても既にサービスを提供している橋梁版同様、LGWAN での提供が可能
- ⑥基本は、パッケージ販売ですが、地域の実情に合わせて舗装版や橋梁版のみといった、カスタマイズが可能です。

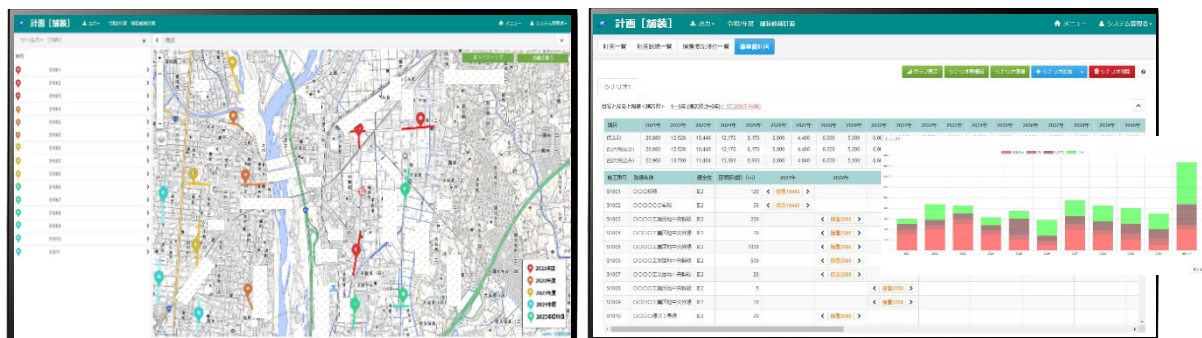


図 年度ごとの優先順位位置図（左図）と予算シミュレーション（右図）例

■今後の展開

「インフラマネジメント支援システム」は、橋梁版、舗装版に続き、トンネル、道路附属物、のり面・斜面などの開発を進めています。これらにより、道路全体の維持管理を支援する統合システムへ展開してまいります。

なお、今回の舗装版は、いくつかの自治体へ既に試行導入し実証中です。

今後は、全国の地方自治体に向けてこれらシステムの提供も含め、道路維持管理のあり方や仕組みの構築なども提案し、道路デジタルトランスフォーメーションによるインフラの効果的効率的な維持管理を支援してまいります。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 宮内・丸山